

# 知床五湖の利用のあり方協議会（第12回）議事概要

1. 場所：知床世界遺産センター レクチャールーム

2. 日時：平成22年8月23日（月） 17:30～20:40

## 3. 出席者：

北海道大学：愛甲

しれとこフォーラム21：小川、吉川

ウトロ地域協議会：松本

ガイド協議会：関口、山本、岡崎、鈴木

ウトロ自治会：梅沢

ユートピア知床：上野山

斜里バス：菅原、下山

知床民宿協会：桂田

知床温泉旅館協同組合：佐々木

知床エコツーリズム推進協議会：松田、上野

知床斜里町観光協会：青木

環境省：則久、野川、中村

北海道：石川、吉田

斜里町：岡田

知床財団：増田、寺山、近藤

※敬称略、順不同

## 4. 配布資料

資料：

資料 1-1 立入認定手数料の試算について

資料 1-2 植生保護期の立入認定手続きの流れ（案）

資料 1-3 知床五湖利用調整地区 利用適正化計画（再々修正案）一部抜粋

資料 2-1 知床五湖利用コントロール導入実験（第3回）実施結果概要

資料 2-2 知床五湖利用コントロール導入実験 利用者意識調査の結果

資料 3 知床五湖登録引率者審査部会（仮称）の設置及びスケジュールについて

参考資料 1 JATA エコツーリズムセミナー招聘について（案）

## 5. 議事概要：

【開会挨拶】 環境省釧路自然環境事務所 則久次長

**環境省：**五湖の利用のあり方協議会これまでの経緯を説明

【立入認定手続きと手数料について】

**環境省：**資料 1-1 の説明

**知床温泉旅館協同組合：**具体的に試算した料金はいくらか？

**環境省：**利用者 3 万人想定で、400 円という試算結果になった。

**知床温泉旅館協同組合：**部会でも意見を聞いたが 100 円か 200 円が好ましい。なんとかこれできないかという話だ。最大でも 200 円。環境省負担にして、100 せめて 200 にして欲しい。利用者に対して駐車場料金、ガイド料金、認定手数料の三段階徴収は好ましくない。

**環境省：**以前の 500 円から 400 円まで削減することができた。料金は五湖の利用人数によるが、初年度で 200 円は現実的でない。足りない部分は行政負担というが、すでにレクチャーにかかる経費は負担しており、削れる部分がすでにない状態である。初年度から大赤字を出すことは出来ない。

**知床フォーラム 21：**システムの根本的なことなのだが、料金は入場者数によって変えるのか？ルール必要性はわかるが、それにかかる費用すべてが利用者の負担になるのか？

**環境省：**レクチャー、その他諸経費を環境省が負担している。あくまで全額利用者負担と言っている訳ではなく、最低限認定事務にかかる部分を負担して欲しいという話である。認定手続きに関しては利用者負担で運営なので、少ない利用者に自然体験して欲しいのだが、その場合手数料は高くなってしまう。

**知床フォーラム 21：**利用者の数で値段を決めるといのはいかがなものかと言っている。別の部分で補填できないのだろうか？

**ウトロ地域協議会：**値段の決め方には二つある。原価から値段を決める方法と売れる値段を考える方法である。何度も取られても納得できる料金を考える必要がある。長期的な判断をし、まずは安くして、いずれ利益が出た際補填すればよいのでは？

**環境省：**初年度が成り立たないのでは制度としての問題があるということになってしまう。後に金額を変えることは可能であるが、周知した後に金額を引き上げる事は出来ないと思われる。試算からすると 400 が下限であると考えている。

**ウトロ地域協議会：**長期的に考えて欲しい。五湖のレクチャーだけではなく、五湖 FH に公園全体での啓蒙などの付加価値を与える必要がある。

**環境省：**五湖 FH は全単体的な啓蒙施設であると考えている。しかし事務手数料に関しては利用者負担で運営する事になっており、今はこの数字を考えている。

**知床フォーラム 21**：利用者負担なのか、折半なのか、どういうスタンスでやっていくのが重要である。昨今世界情勢的に経済は厳しい状態であり、200円が妥当だと思われる。

**環境省**：知床五湖の利用できる場所が地上歩道しかないのであれば、ご指摘のように五湖全体の観光にとって打撃が大きいと考えるが、高架木道は自由かつ安定的に利用できる。そちらにシフトしてもらうことにより、確実に知床五湖の素晴らしい景色が堪能できると考えている。

**知床フォーラム 21**：利用者数で金額を変えていくのは好ましくないのでは？

**環境省**：指定認定機関が認定手続きを行う。事務手続きの運営に関しては指定認定機関となった民間が行うことになる。

**知床フォーラム 21**：指定認定機関はどうやって決めるのか？

**環境省**：公募する形になる。

**知床フォーラム 21**：金額ありきではなくて客が多く来るように考えるのが普通である。最初は0円にしてでもおおく来てもらうのが、通常のコストである。国立公園は国民の財産である。まずは訪れてもらうことを考える必要がある。

**環境省**：その為に高架木道を整備したという経緯がある。

**知床フォーラム 21**：地上歩道に来なければ採算がとれないのでは？

**環境省**：そのあたりを鑑みて試算したうえで、400円と考えている。

**知床フォーラム 21**：客が来ないことには話にならない。民間なら首をくくことになる。

**環境省**：その話は理解する。しかし200円では厳しいと考える。許認可の事務手続きは他から補填はできない。ある程度下限で始めて、後々下げて行くことは可能である。

**知床財団**：この試算は新しい制度の目標値と考えることができる。この商品（五湖の新制度）をどれぐらいの人が利用すると考えるか。3万人の利用があると思うか？

**知床フォーラム 21**：色々な旅行者がいる。土産も買えない人も居る。400円だったら家族4人で1600円である。高いのでは？

**知床財団**：それでは現在と同じ不特定多数を地上歩道のシステムに受け入れることを目指すということか？

**知床フォーラム 21**：そういうわけではない。人数が多いから値段を上げるならわかるが、逆ではないのか？目的がそれなのでは？ヒグマ活動期はいいが、植生保護期は商品にならない。利用者の負担が増えるだけだと考える。

**知床財団**：利用人数の目標値が妥当かどうか聞きたい。

**知床フォーラム 21**：自然は無料であったもの。内容を高める努力をしているのはわかる。料金を取るからには理由付けと価値観が必要。はじめて指定認定機関が民間委託であるという話をきいた。

**ウトロ地域協議会**：これでは利用者を制限するのに利用者が多くいないと成り立たない裏腹状態である。誰も指定管理者に応募してこない場合、本当に環境省が直営するのか？

**環境省**：環境省が直営すると手続きが非常に複雑になる。

**ウトロ地域協議会**：手数料に消費税は付くのか？

**環境省**：法定の事務手数料のため付かない。

**知床斜里町観光協会**：新聞には「知床五湖 400 円」という見出しが出るだろう。これが好ましくない。制度導入の最初は大々的に報道される。来年安くしてももはや新聞には取り上げられないだろう。

**環境省**：五湖全体が有料だと思われるのは問題である。高架木道は無料であり、地上歩道が有料となる時期もあるということだ。

**知床斜里町観光協会**：まず手数料を下げ設定し、後に上げることもできると考える。

**斜里バス**：受託事業者に見積させるのがいいのではないか。もっと安くなるかもしれないのではないか？本部スタッフとはなにをするのか？

**環境省**：本部スタッフはヒグマ遭遇時の情報を整理する仕事である。

**斜里バス**：それであれば給料が高いのではないか？それに民間委託ならば安くしたいのではないか？

**環境省**：指定認定機関は一般でいうみなし公務員になるので比較的かたい運営が求められる。日程的にはもう少し余裕はあるが、出来れば手数料はもう決めたいと考えている。広報の面からもあるが、金銭面で長く議論が続くのはあまり対外的に良くないと考えている。

**エコツーリズム推進協議会**：五湖の利用者は減っている。JATA の意見は重い。彼らに提示したいのはわかるが、逆に彼らに聞くのはどうだろうか？客が減るのが一番怖い。まずは客を減らさないようにしてもらいたい。ガイドが今回のシステムの要であるのに、ガイドが食い詰めたら困るのではないか。

**ウトロ地域協議会**：ガイドの方たちはどう考える。

**エコツーリズム推進協議会**：手数料が高ければガイド料が高いと思われる。安いなら安い方がよい。余剰利益は民間のものになるのか？

**環境省**：そうである。しかしその場合は料金を下げることになる。

**エコツーリズム推進協議会**：基本的にガイドがヒグマの対応をするのだから、本部スタッフはヒグマ対策できなくてもよいのではないか？本部スタッフは必要なのだろうか？

**環境省**：現場責任者が必要である。みなアルバイトという訳にはいかない。

**ウトロ地域協議会**：今決めるといわけではないが、料金について妥協できるかできないか話さないといけない。

**エコツーリズム推進協議会**：一般的営業の管理ではない。危険が内在しているものを管理することになる。安くして適当でない業者が来ても困る。民間が指定認定機関になった場合、協議会の位置付けはどうなる？

**環境省**：合意形成の場になる。

**知床フォーラム 21**：安全面を考えるとこの本部スタッフの仕事内容では薄いのでは？

**環境省**：許認可事務処理の責任者であって、安全面の管理はまた別で行う。

**ガイド協議会**：事故があった場合五湖 FH スタッフたちも訴えられるのでは？リスクが高くて誰も名乗りを上げないのではないか。

**環境省**：もちろん安全性を考えれば全面閉鎖であるが、それは好ましくない。

**ウトロ地域協議会**：利益はプールできないのか？

**環境省**：そうである。

**ウトロ地域協議会**：無理だろう。

**知床フォーラム 21**：利用者が来なくて料金を上げるのは無理である。安く始めるしかないでしょ。

**ガイド協議会**：入場料が 400 円、500 円というのは抵抗があると思う。例えば保険料が含まれているということにできないか？

**環境省**：適切な名称は現在考えている。保険が入っているということも難しいだろう。地元は 200 円が限度だと言っているが、こちらの試算では 200 円であれば 6 万人利用者が来なければ運営できない。これでは厳しいと考える。

**知床フォーラム 21**：民間に委託する場合、赤字では誰も受けないであろうから 400 円という理屈はわかった。これを事務手数料以外で賄うことはできないのか？

**環境省**：それをやるためには法律を変える必要がある。手数料収入でしか運営できない法律になっている。

**ウトロ地域協議会**：どんなにシステムを理解しても手数料を決めなければならない。間を取って 300 円はどうか。

**知床フォーラム 21**：私は 100 円が好ましいと言っている。200 円が上限である。

**斜里バス**：もう少し人員を減らせないのだろうか？

**環境省**：ぎりぎりの試算を行っている。かなり無理がある。

**ウトロ地域協議会**：もう一度試算しなおしてもらいたいだろうか？

**環境省**：10 円、50 円刻みなら可能であるが。

**エコツーリズム推進協議会**：結局の所、利用者が減るのが怖い。やはり 200 円ではないか。

**知床フォーラム 21**：環境省直営から始めるのはどうか。

**環境省**：可能だが手続きに時間がかかる。認可が下りるまでに申請から 5 日ぐらいかかる恐れがある。現実的ではないだろう。単価を下げるしかなくなる。

**知床財団**：先に公募はできないのだろうか？

**環境省**：可能だと思う。

**知床財団**：業務量を決めて見積もりあわせはできないのか？

**斜里バス**：入札などもある。

**環境省**：逆に現在の試算よりも高くなると困る。地域の上限 200 円、事務側は 400 円この差を埋められるかという問題もあるが、取ってもらえない場合結局どうしようもないだろう。

**知床フォーラム 21**：ヒグマ活動期のレクチャーを簡素化することによって安くならない

か？

**環境省**：もともとレクチャー費用は行政負担で手数料の対象には入っていない。故にレクチャーを簡素化しても安くはならない。

**エコツーリズム推進協議会**：通常受託する側はレクチャー業務と事務業務をあわせて考えると思われる。合計金額は出せないのか？

**環境省**：随意契約はできない。ご理解頂きたい。

**知床財団**：団体がどれぐらい使用するかが分かればもっと現実的に考えられる。どれぐらい入ると考えるか？

**ガイド協議会**：団体割引などがあるならば入るかもしれないが、そうでなければ来ないと考える。

**環境省**：それはできないだろう。

**斜里バス**：いや団体も来るであろう。しかし団体が二湖を見られないのは厳しい。

**ガイド協議会**：腹をくくる必要がある。この値段で私たちは行く、五湖にはこういう価値があるとはっきり示さなければならない。

**環境省**：9月の前半でもう一度協議会を開きたいと考える。料金についても検討しなおすが、ご期待には添うのは難しいとも思う。

#### 【植生保護期立入り認定手続きの流れ（案）及び利用適正化計画の修正について】

**環境省**：資料 1-2, 1-3 の説明

**環境省**：以前は当日のみであったが予約を入れることとした。いかかだろうか。

**エコツーリズム推進協議会**：予約は一人からでもできるのか？

**環境省**：可能である。

**鈴木**：何人まで枠を取れるのか？

**環境省**：最大 30 である。

**知床財団**：団体のニーズが知りたい。現場としてどのようなシステムにすれば団体利用者がしやすいかを知りたい。

**ガイド協議会**：これでは前日に客が増えた時に利用できない人が出る。

**環境省**：どのようにすれば利用しやすいかを話し合いたい。今後意見が欲しい。

#### 【知床五湖利用コントロール導入実験結果について】

**知床財団**：資料 2-1 の説明

**北大愛甲**：資料 2-2 の説明

現在もまだアンケートが送付されてきている。結果は今後多少変わると思われる。さらにお盆の実験の無い次期にもアンケートも実施した。その結果も合わせればさらに解析できると考える。

【審査部会設置について】

**環境省**：資料3の説明

**ガイド協議会**：ガイドからの選任はどのようにするか。

**環境省**：実験中五湖に一番多くはいった人が好ましい。残り2人はガイドの中で推薦していただきたい。

**知床財団**：ガイド以外の部会員はどうするか。

**環境省**：こちらで決めてよろしいか？

**全員**：異論なし。

【JATA 招聘について】

**知床斜里町観光協会**：参考資料1の説明

JATA に加盟している旅行会社の企画造成者を実際に知床に来てもらう。五湖が重要であるが、五湖だけではなく他も見てもらふことになる。団体がどれぐらい入るかどうかは JATA の評価による。今後ツアーをどのように造成するかが重要である。

**ガイド協議会**：五湖の散策路は来年と同様のルートを案内するのか？

**環境省**：そうである。

**エコツーリズム推進協議会**：手数料は JATA や旅行博までに決めるのか？

**環境省**：できれば決めたいと考えている。

**知床温泉旅館協同組合**：駐車場の拡張はするのか？

**環境省**：現在検討中である。団体はバスでくるのではないか？

**エコツーリズム推進協議会**：それだけでは好ましくない。

**エコツーリズム推進協議会**：旅行会社は個人にもツアーを売っている。

**環境省**：料金に関しては、これ以上環境省の負担は厳しいという点をお伝えした。利用者が納得する金額を考えるという意見はもっともである。人員削減についても検討してみる。地域の意思表示が必要であると考え。これらを踏まえ9月24日の旅行博までに決めたいと考えている。

【閉会】